

# 地域医療連携新聞



**NO.1**

平成16年9月号  
(隔月発行)

発行／朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)  
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)  
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

## 最近の話題・トピックス

### 『小腸への内視鏡によるアプローチ』

消化器内科教授 加藤隆弘

消化器内視鏡による食道、胃や大腸疾患の診断や治療の進歩にはめざましいものがあります。しかし、小腸は臓器が極めて長く、かつ屈曲しているという解剖学的特性から内視鏡の到達が困難なため、消化器内視鏡の進歩からはひとり取り残されてきました。小腸の内視鏡観察といえば、せいぜい上部消化管内視鏡検査で十二指腸第2部まで、大腸内視鏡検査で回腸終末部を観察できる程度であり、空腸や大部分の回腸などは未知の領域として存在し「消化管の暗黒大陸」とすら言われてきました。

しかし、ここにきて私たちは小腸を観察できる2つの手段を手中にしつつあります。一つはカプセル内視鏡、もう一つは小腸内視鏡あります。

カプセル内視鏡は患者様に苦痛なく全小腸をくまなく観察できる画期的な検査法であります。小腸のみならず当然食道、胃や十二指腸も観察でき、将来極めて有望な内視鏡検査であります。しかし、現時点では①往復観察や生検が不可能である②画像が記録画像であり、所見の評価が困難である③管腔全体の観察が不十分である④高いランニングコストなどの問題点を抱えており、本邦では未だ保険の承認が得られていません。

一方、小腸内視鏡は以前よりPush方式、Sonde方式やRopeway方

式などの挿入法により行なわれてきましたが、挿入範囲、簡便性、侵襲性などの点より理想的な検査ではなく広くは普及しませんでした。この度「ダブルバルーン方式電子内視鏡システム」が開発され、本システムにより低侵襲でしかも空腸、回腸を全域にわたり観察し治療も可能となりました。当院においても同システムを導入し、小腸疾患の診断・治療を積極的に行なうようになりました。

現在、小腸内視鏡の適応としては①上部消化管内視鏡および下部消化管内視鏡において原因不明な消化管出血の診断と止血術②クロール病の小腸病変の診断と狭窄に対する拡張術③小腸腫瘍性病変の診断④小腸感染症の診断⑤クロール病以外の小腸炎症性疾患の診断などが挙げられます。

今後小腸内視鏡の普及にしたがい、小腸疾患の診断能が向上するのみならず、今まで外科手術に依存していた一部の疾患の治療が内視鏡で可能になると考えられます。さらに、小腸疾患の病態生理の解明が進み、その疾患体系が新たに構築される可能性など、その期待は大きいものがあります。

### 院内研修会のご案内

#### ●第41回岐阜消化器画像診断研究会

10月7日 19:00~21:00  
4階講義室



#### ●第19回肝胆脾疾患臨床報告会

11月25日(予定)

### 新任医師のご紹介



外科

佐々木 義之  
(本年7月1日赴任)

整形外科

平井 直文  
(本年7月1日赴任)



# 診療医ご案内

(平成16年8月1日現在)



診療科	月	火	水	木	金	土
総合内科	小 島 松 井 奥 田 井 田 武 田 加藤(隆)					
消化器内科	1 診 井 田 島 崎 小 島 加藤(隆) 奥 田 松 下	2 診 島 崎 松 下 尾 松 谷 口 濱 口 橫 溝				
循環器内科	1 診 阪 本 加藤(周) 足 立 加藤(周) 阪 本 足 立	2 診 植 本 高 田 一 植 本 高 田 松 井				
呼吸器科	— 橋 倉 — — 橋 倉 —					
糖尿病・甲状腺・内分泌科	猿 井 武 田 武 田 猿 井 猿 井 武 田					
外 科	1 診 山 本 山 崎 山 本 川 部 山 崎 川部<隔週> 2 診 佐々木 川 部 磯 迂 磯 迂 中嶋<隔週> 中嶋 中嶋 中嶋<隔週> 佐々木<隔週>					
乳腺外科	樺 木 樺 木 樺 木 樺 木 樺 木 樺 木 山 崎					
脳神経外科	1 診 安 藤 郭 安 藤 安 藤 安 藤 郭 11時～ 郭 安 藤 山 田 山田(10:30～) 郭 —					
整形外科	初 診 日 下 植 村 福 井 小 見 山 植村・小見山<隔週> 福井・小椋<隔週> 再 診(リハビリ) 平 井 小椋・櫻木<隔週> 小 榎 櫻 木 福井・平井<隔週> 櫻木・平井<隔週>					
眼科	稻 積 稲 積 稲 積 稲 積 稲 積 稲 積					
泌尿器科	— 伊 藤 — — 江 原 —					
歯科・口腔外科	村 本 松 間 村 本 松 間 村 本 松 間 村 本 松 間 村 本 松 間					

## [ご案内]

- 診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
- 年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。